

昭和37年12月

学

報

第37号



第37号 (昭和37年12月)

## 目次

関係法令	1
人事異動	1
学内通知	昭和37年度高等学校短期大学連絡協議会..... 1
	昭和38年度科学研究費等提出期間、必要書類..... 2
	昭和37年度科学教育研究室修了式..... 3
	附属小学校図書室竣工..... 3
	学位取得者..... 3

北川、大浦両教官の渡米.....	3
第5回富山理科教育研究発表会.....	3
富山大学学生歌の選定.....	4
日誌.....	4
職員住所.....	5
訂正.....	5

## 関係法令

## 規則

人事院	9—13	退職者の給与の一部を改正する規則	37.12.1官報
〃	11—4	職員の身分保障の一部を改正する規則	37.12.1〃

## 告示

日本学術会議第9号	日本学術会議第6期会員選挙による当選人の氏名を告示	37.12.7官報
-----------	---------------------------	-----------

## 官庁報告

人事院	昭和37年度国家公務員採用初級試験合格者	
	東海・北陸地方初級試験	37.12.20官報号外

## 人事異動

現官職	氏名	異動内容	発令年月日	発令庁
	藤井小三郎	事務補佐員（文理学部）に採用する	37.11.16	富山大学
用務員 （教育学部）	野田好一	辞職を承認する	37.11.30	〃
講師 （文理学部）	坂井昌市	助教授に昇任させる	37.12.1	文部省
	寺井和子	事務補佐員（工学部）に採用する	〃	富山大学
技能員 （工学部）	中村宏	事務員に配置換する	37.12.6	〃
（富山商船高等学校）	館淳子	富山大学（工学部）に転任させる	37.12.16	〃
事務補佐員 （工学部）	上村康子	事務員に配置換する	37.12.23	〃
文部技官 （文理学部）	朝野武美	辞職を承認する	37.12.31	〃
	榎本三郎	教授（薬学部）に採用する	38.1.1	文部省

## 学内通知

## 昭和37年度高等学校短期大学連絡協議会

本年度のこの会合は、県下各高等学校長、県教育委員会

関係者に、本学側から学長、各学部長等52名出席のもと、12月7日午後2時から経済学部会議室で行なわれた。

協議会は、学長挨拶のあと、本学から、当面の計画、経営短期大学部の現況、それに昭和41年度以降の大学入学試験などについてそれぞれ説明を行ない、次いでこれ等に対する質疑応答があつて午後4時閉会した。

## 昭和38年度科学研究費等の提出期間、必要書類等一覧表

研 究 の 種 類		提 出 期 間	必 要 書 類	提 出 部 数
特 定 研 究		2月4日(月)～ 9日(土)正午まで	特 定 研 究 計 画 調 書 { 甲 乙 (研究代表者または研究担当者作成) 承諾書(総合研究の場合は、研究代表者 と異なる機関に所属する研究分担者のみ) (研究代表者作成) 特 定 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	1 2 左記括弧書きの 1 研究者ごとに 2
	機 関 研 究		機 関 研 究 計 画 調 書 { 甲 乙 (研究担当者作成) 機 関 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	1 2 2
	各 個 研 究		各 個 研 究 計 画 調 書 (研究担当者作成) 各 個 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関代表者作成)	1 2
総 合 研 究		2月14日(木)～ 20日(水)午後5時 まで	総 合 研 究 計 画 調 書 { 甲 乙 承 諾 書 総 合 研 究 カ ー ド (以上研究代表者作成) 総 合 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	1 1 1 1 2 研究ごとに
	試 験 研 究		試 験 研 究 計 画 調 書 承 諾 書 試 験 研 究 カ ー ド (以上研究代表者作成) 試 験 研 究 計 画 調 書 一 覧 (研究機関長作成)	1 1 1 2 研究者ごとに
研究成果 の 刊 行	学 術 定 期 刊 行 物	2月4日(月)～ 9日(土)正午まで	学 術 定 期 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 カ ー ド 最 新 刊 の 学 術 定 期 刊 行 物 (学協会等の代表者作成)	1 1 1 1
	学 術 図 書		学 術 図 書 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 カ ー ド 原 稿 の 見 本(原稿用紙 4, 5 枚程度) (著作権者作成)	1 1 1 1
	二 次 刊 行 物		二 次 刊 行 物 刊 行 計 画 調 書 出 版 経 費 見 積 書 カ ー ド 最 新 刊 の 二 次 刊 行 物 または 原 稿 の 見 本 (原稿用紙 4, 5 枚程度) (二次刊行物の刊行者作成)	1 1 1 1

上記提出部数は本省へ提出の部数であつて、この他に本部の控となるものをこれに1部宛加えること。

## 昭和37年度科学教育研究室修了式

本年5月16日から開かれた、本年度科学教育研究室は、12月14日をもつて、その予定を終わつたので、同日、黒田講堂貴賓室で修了式が行なわれた。

まづ、修了証書の授与があつたあと、室長である横田学長の式辞が述べられ、次いで富山県教育委員会からの祝辞が田上康委員から述べられた。これに対し研究指導者を代表して植木教授が挨拶を、また、研究生を代表して高岡工芸高校の宮本教諭が答辞を述べて式を終わつたが、このあと一同懇談に移り散会した。このたびこの室で研究を修了した者は次の6名である。

戸出女子高校	教諭	亀谷敬子
高岡工芸高校	〃	宮本敏男
山崎小学校	〃	長崎光雄
高陵中学校	〃	邑本順亮
富山産業高校	〃	薄上富士根

## 附属小学校図書室竣工

附属小学校同窓会の寄贈になる同校図書室は、阪口工業会社の手で、校舎の南西隅に独立して建設中であつたが、12月4日に竣工した。

これは、鉄筋コンクリート平家建、37坪898のものであつて、工費は3037,650円である。

## 学位取得者

工学部 教授 位崎敏男

取得学位 工学博士

学位論文 “スパイスに関する基礎的研究”

提出先 京都大学

論文主査 教授 西原清廉

取得年月日 昭和37年2月13日

学位番号 工第1049号

工学部 助教授 瀬川安一郎

取得学位 工学博士

学位論文 “非鉄精錬迴転反射炉の利用について”

提出先 九州大学

論文主査 教授 伊藤尚

取得年月日 昭和37年3月27日

学位番号 第6398号

工学部 教授 井上浩

取得学位 工学博士

学位論文 “通信用特殊振動子に関する研究”

提出先 東北大学

論文主査 教授 永井健三

取得年月日 昭和37年3月31日

学位番号 工第483号

## 北川、大浦両教官の渡米

昨年5月の学報第30号で既報のとおり、薬学部大浦彦吉助教授は38年度在外研究員C項該当者として、また同学部北川靖雄教授はA項該当者として、承任されていたが、大浦助教授は12月13日、アメリカ、ピッツバーク大学へ、また北川教授は12月27日ワシトンのナショナル、インステテュート、オブ、ヘルスに向け、夫々羽田空港を出発した兩人とも向こう一カ年間滞留の予定である。

## 第5回富山理科教育研究発表会

この研究発表会は、11月24日（土）県理科教育振興会、教育学部理科教室などの共催により黒田講堂で次のとおり開催された。

研究授業 9時30分～10時20分

教育学部 藤木興三

附属中学 古木寛

〃 吉田英子

研究発表

（午前）

1. プラズマについて

桜井高校 島田博嗣

2. 物理における指導のいくつかの試み

砺波高校 水野光雄

3. 県下小中学および高等学校における地学教育当面の諸問題

高陵中学 邑本順亮

（午後）

4. 高校化学教科書の問題点

高岡高校 発田襄

5. 実証による植物のふやし方と理科学習

熊野小学(富山) 町野誠次郎

6. 植物の環境への適応性（主として葉について）

雄山中学 堀駿

7. 教材「あぶり出し」に関する研究

教育学部 嵯川栄作・宮前雅子

多故珍子

8. アルキルコハク酸ジエステル類関連化合物の合成

雄山高校 越正光

特別講演

高分子の話 日本ゼオン株式会社高岡工場長

菅 第六

## 富山大学学生歌の選定

本学にはまだ、学生歌がなかったので、学生部では、広く学生から作詩作曲を募集し、次のものを選んで本学の学生歌とし、これを12月20日付で発表した。

## 「新しき時代の息吹」

福 田 昌 平 作歌

阿 部 節 子 作曲

## 1. 新しき時代の息吹

北陸に若き血たぎり

集え 集え

集え われら

深き真理を究む

われらや富山

われらや富山

## 2. 燦として輝く生命

立山に若き陽映えて

昇れ 昇れ

昇れ われら

高き理想をめざす

われらや富山

われらや富山

## 3. 青春のあふれる力

世紀の若き芽いでて

伸びよ 伸びよ

伸びよ われら

遠き世界を開く

われらや富山

われらや富山

日 誌

本 部

12月 3日 短大後援会総会（電気ビル）

4日 事務協議会

附属小学校図書室竣工式

7日 県下高等学校との連絡協議会

梅原前学長来学

9日 附属小学校80周年同窓会

13日 建築委員会

14日 原子力同位元素委員会

科学研究室修了式

評議会

17日 本省営理局田中教育施設部長来学

19日 山梨学院大学古屋学長来学

24日 庶務係長会議

## 文 理 学 部

12月 1日 学部リクリエーション（芦原温泉一泊旅行）

11日 学部補導委員会

12日 教授会

19日 文学科懇話会（アベ・シエイスとフランス革命について中臣恵暁教官研究発表）

## 教 育 学 部

12月 5日 教務委員会

7日 高等学校、短期大学、大学連絡協議会

9日 附属小学校図書館竣工式

12日 教務委員会 教授会

13日 建築委員会

14日 原子力同位元素委員会

科学教育研究室修了式 評議会

19日 学部図書委員会

20日 寮補導委員と寮委員との懇談会

27日 教授会

## 経 済 学 部

12月 13日 人事教授会

教授会（第15回）

教務委員会

24日 冬期休暇（38. 1. 5まで）

## 薬 学 部

12月 8日 薬学部学生学年別対抗籠球、卓球大会（市体育館）

9日 大浦彦吉教官アメリカ留学のため富山駅出発

13日 教授会

17日 富山大学ギターマンドリンクラブ定期演奏会（北日本新聞社ホール）

18日 北川晴雄教官アメリカ留学のため富山駅出発

22日 教授会、授業終了

24日 第2年次、第3年次実験実習終了

薬学部学原子力同位元素応用研究室運営委員会

## 工 学 部

12月 5日 教授会  
 12日   〃  
 14日 人事教授会  
 15日 生協懇談会  
 19日   〃  
 20日 寮生大会

## 附 属 図 書 館

12月 6日 事務打合せ  
 12日 目録研修会  
 14日   〃

## 経営短期大学部

12月 3日 短大後援会臨時総会（電気ビル）  
 7日 昭和37年度高校、短大、大学連絡協議会（経済会議室）  
 12日 短大、経済合同委員会  
 18日 専任教員会議（第6回）  
 20日 短大完成記念絵葉書発行  
 24日 冬季休業（1月14日まで）  
 26日 経営短大導標額発表

## 職 員 住 所

転 居

文理学部

教 授 小笠原和夫

講 師 奥貫 晴弘

教育学部

助教授 藤井 敏孝

工 学 部

助教授 中川 孝之

訂 正

研究課題“医薬品の防カビの研究”の教授 北川晴雄とあるは 教授 桜井謙之介 の誤り

また、Cの

研究課題“牛黄の生薬化学的および薬理学的研究”の教授 桜井謙之介とあるは 教授 北川晴雄 の誤りである。

昭和38年1月15日

印刷所 昭和印刷株式会社

